

平成29年10月30日

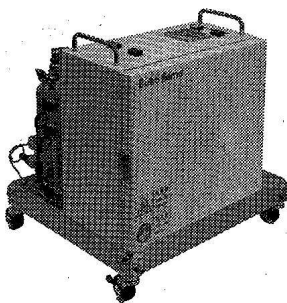
金属産業新聞(6面)に掲載されました

日東精工

# 組込用途にユニット化

## マイクロバブル生成装置シリーズ

日東精工(株)(京都府綾部市、材木正己社長)は、金属や樹脂製品の加工後やめっき処理前の洗浄等で使用されているマイクロバブル洗浄装置の基幹技術であるマイクロバブル生成機構単体をユニット化した「マイクロバブル生成装置シリーズ」を開発し、2017年10月17日より販売を開始した。



外観写真 (写真はMU-2010)

同社では、水と空気のバブルの特性を活かし、みて生成されたマイクロバブルの対象物に付着した油などの汚れに接触してその表面に吸着することで洗浄効果を発揮する「マイクロバブル洗浄装置」(写真)を発売する。この装置は、一般的な洗浄機と比較して有機溶剤や酸・アルカリといった化学合成物質を一切使用しないため、環境

に優しく作業者に安全でランニングコストが圧倒的に安価な工業用洗浄装置として、環境意識の高い自動車関連ユーザーを中心に評価を得てきた。そのような中、ユーザーからは工場内に既設の洗浄機への組込みに対する要望や、その他の応用分野での活用に対する意見が挙がっていた。マイクロバブルは今後さまざまな分野での応用が期待されており、用途が広がる可能性がある。今回の「マイクロバブル生成装置シリーズ」の発売により、より一層の環境負荷低減を目指して新たな事業領域へ挑む。

標準機は4機種をラインナップ。利用用途に合わせて選定できる。その他要望に応じてカスタマイズも可能だ。装置外形は省スペース化を図り、既設装置への組込みがしやすい設計とした。また標準でロック機構付きキャスター及び取手を標準採用しており、容易に移動が可能。また、外部機器からの信号を受け、運転開始および停止することが可能。オプションでタイマー機能を設けることも可能となっている。

さらに、マイクロバブル洗浄装置で培った、高濃度マイクロバブル生成機構を採用。濃度の高いマイクロバブルを安定して生成することが可能。このほか、各種機構をシンプル設計とすることで故障が少なく、簡単に運転操作が可能といった特長もある。

同装置は、(一社)フアインバブル産業会(FBIA)よりマイクロバブル発生機の製品のサンプリングの性能を認証する「マイクロバブル認証事業」(「IA認証」)により、FBIAが指定した試験ラボによる発生機試験と評価結果を得て、2017年8月25日に国内第1号となる製品サンプリングの性能認証を取得した。